

令和3年度 指導計画・評価計画 (学年:2 教科:音楽)

学期	題材	教材	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	<歌唱> 独唱曲(日本歌曲) ※共通教材	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使いなど技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
1	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう。	<歌唱> 混声三部合唱	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使いなど技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現	【思】音色・速度・テクスチャ・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
1	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 交響曲を聴こう	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを感じて聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	<歌唱> 独唱曲(イタリア歌曲)	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使いなど技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
2	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	<鑑賞> オペラの魅力	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを感じて聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	<創作><鑑賞> 「リズム創作」	【知】音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	【思】リズム・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	【態】音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
3	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	<鑑賞> 鍵盤楽器の魅力	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色・旋律・テクスチャ・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、音楽のよさや美しさを感じて聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2.3	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	<歌唱> 合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使いなど技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。	【思】音色・速度・テクスチャ・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。
3	思いをこめて合唱しよう	<歌唱> 混声三部合唱	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体の使いなど技能を身に付け、歌唱で表している。	【思】音色・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。

各観点の達成率80%以上…A 50%以上…B 50%未満…C

令和4年度 指導計画・評価計画 (2学年 美術)

学期	分野	領域	題材名	学習活動	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
					知識	技能	発想・構想	鑑賞	主体的に学習に取り組む態度	
									表現	鑑賞
1 学期	絵や彫刻など	表現中心	「想像の生物をつくる」	○空想から生まれた表現に関心をもち、主題を生み出す。 ○主題をもとに構想を練る。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに想像の生物に託した願いや思いを全体のイメージで捉えることを理解している。	材料の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	実際の生物や身の回りのものから想像を広げることで主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え創造的な構成を工夫し豊かに表現する構想を練っている。	主体的に身の回りのものから発想を広げ想像の生物をつくる学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に想像から生まれた様々な作品から表現の面白さを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		鑑賞中心	「わかりやすく情報を伝える」	○ポスターなどを鑑賞し、情報を伝えるための工夫などを話し合う。 ○他者の考えに関心をもち作品の見方を広げる。	形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに伝わりやすさやデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。		情報をわかりやすく伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、情報をわかりやすく伝えるための工夫などを考え、見方や感じ方を深めている。	情報をわかりやすく伝えるための工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
2 学期	デザインや工芸など	表現中心	「メッセージを伝える」	○メッセージを広く伝えるデザインに関心をもち伝える目的や相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出す。 ○構成、配色、コピーなどの構想を練る。 ○形や色、構図などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに効果的な伝達デザインを全体のイメージとして捉えることを理解している。	意図に応じて表現方法を創意工夫し制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって創造的にあらわしている。	メッセージを伝える目的や相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し絵や文字などの組み合わせの効果やわかりやすさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。	多くの人にメッセージが伝わるように工夫して主体的に表現の学習活動に取り組もうとしている。	効果的にメッセージを伝える工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
		鑑賞中心	「絵巻物と漫画の表現」	○絵巻物と漫画の表現を鑑賞し良さを味わい、美しさを感じ取る。 ○両者の時代を超えた表現の共通点や違いを感じ取り美術文化への見方や感じ方を深める。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに絵巻物と漫画の共通点や違いを全体のイメージで捉えることを理解している。		絵巻物と漫画の造形的なよさや美しさを感じ取り、時代を超えた表現の共通点や違いを考慮して美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵巻物と漫画から時代を超えた表現の共通点や違いを考慮する鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
3 学期	絵や彫刻など	鑑賞中心	「レオナルドとその時代」	○レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を鑑賞し作者の表現の意図や工夫を感じ取る。○感じたことや考えたことを話し合い作品の見方を広げる。	形や色などが感情にもたらす効果や遠近感や明暗、人物の描写などの造形的な特徴をもとにルネサンス美術の全体のイメージや作風で捉えることを理解している。		レオナルドやルネサンスの美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考え、美術文化への見方や感じ方を深めている。	作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。		
		表現中心	「透視図法であらわす理想の部屋」	○透視図法を学習する。 ○自分にとっての「理想の部屋」を透視図法で制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う。	透視図法の見方や知識、描き方を理解している。	透視図法の知識や技能を身に付けて基本的な図形を描くことができる。	自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略強調などを考え、創造的な構成を工夫し、豊かに表現する構想を練っている。	自分の感情や思いから発想を広げ、作品にあらわす学習活動に取り組もうとしている。	創造活動の喜びを味わい、作品の表現や意図を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
評価材料					ワークシート・作品・定期考査		ワークシート・作品・定期考査		ワークシート・作品	

令和4年度 指導・評価計画（学年：2年 教科：保健体育）

年間授業計画

学期	1学期													2学期												3学期													
月	4月			5月				6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月							
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
第1学年	1		体育理論 (1)				保健<4>			体づくり				水泳		体育理論 (1)	保健<8>											体育理論 (1)	保健<4>										
	2	体づくり<6>		陸上競技<11>			球技<8>			体づくり	水泳<6>			<4>	器械運動<8>			武道<5>			陸上<7>			球技<9> ネット型				ダンス<8>			球技<8> ゴール型								陸上<3>
	3						ベースボール型			<3>																													

各分野別・各領域別

分類	運動領域	運動種目	2年	第2学年での選択方法
体育分野	A 体づくり運動	ア 体ほぐしの運動 イ 体力を高める運動	必修	ア、イ必修
	B 器械運動	ア マット運動 イ 鉄棒運動 ウ 平均台運動 エ 跳び箱運動	必修	第1学年との2年間でアを含む②を選択
	C 陸上競技	ア 短距離走・リレー，長距離走 または，ハードル走 イ 走り幅跳びまたは，走り高跳び	必修	第1学年との2年間でア及びイのそれぞれから選択
	D 水泳	ア クロール イ 平泳ぎ ウ 背泳ぎ エ バタフライ	必修	第1学年との2年間でア又はイを含む②を選択
	E 球技	ア ゴール型 イ ネット型 ウ ベースボール型	必修	第1学年との2年間でア～ウのすべて選択
	F 武道	ア 柔道 イ 剣道 ウ 相撲	必修	第1学年との2年間でア～ウから①選択
	G ダンス	ア 創作ダンス イ フォークダンス ウ 現代的なリズムのダンス	必修	第1学年との2年間でア～ウから選択
	H 体育理論	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	必修	

<陸上競技・器械運動・水泳・球技・武道・ダンス>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一・二・三学期	<ul style="list-style-type: none"> 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点について理解している。 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組みや目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価基準	方法 ア、技能テスト イ、定期テスト	ア、定期テスト イ、学習カード ウ、授業観察	ア、授業に取り組む姿勢 イ、授業観察
各観点の達成率80%以上をA、50%以上をB、50%未満をCとする。			

<体育理論・保健分野>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一・二・三学期	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの学び方について理解している。 生活習慣病などの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、個人生活を中心として、科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの学び方について、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりできる。 生活習慣病などの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、個人生活における健康に関する課題を発見している。また、その課題の解決を目指して、科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。 生活習慣病などの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、資料を見て、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとしている。
評価基準	方法 ア、技能テスト イ、定期テスト	ア、定期テスト イ、学習カード ウ、授業観察	ア、授業に取り組む姿勢 イ、授業観察
各観点の達成率80%以上をA、50%以上をB、50%未満をCとする。			

- ① 技術への「意欲・関心・態度」を育み、思考・体験活動を通して、生活の中にある技術に目を向けさせる。
- ② 練習題材から基礎的・基本的な技術(スキル)を習得し、活用できるようにする。
- ③ 発達段階に応じた題材設定を行い、課題解決に向けて能動的に取り組むことができるように促す。
- ④ 生活の問題点や改善点を発見し、様々な条件の中で解決方法を考え、実践する姿をめざす。
- ⑤ 各題材で、技術(テクノロジー)を評価し活用することを学習することで、持続可能な社会の構築を目指す生徒を育む。

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準と評価方法		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	【材料と加工に関する技術】 ・身の回りの技術を見つけよう ・材料と加工法 ・材料に適した加工法を知らそう ・生活に役立つ製品を設計しよう ・練習題材の製作	1 2 2 6	・生活を支える技術について考えよう ・材料の特徴 ・材料の加工法 ・じょうぶな構造と機能 ・練習題材の製作	・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 製作図(投影図)を基にして、材料取り、部品加工組立て・接合、仕上げができる。 ・材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。	・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。 ・道具の管理、準備、片付け、清掃を進んで行おうとしている。	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割と、技術の進展と環境との関係について関心をもっている。 ・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。 ・道具の管理、準備、片付け、清掃を進んで行おうとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品
9 10 11 12	【材料と加工に関する技術】 ・身の回りの整理に役立つ製品の製作	3 6 4	身の回りの整理に役立つ製品の製作 ・けがき作業 ・材料の切断と部品加工 ・接合、組み立て	・材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。 ・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。	・正確に加工するために道具や機械を適切に選んで製作を行っている。 ・作業効率や作品の完成度を高めるための工夫を行っている。 ・製作品の使用目的を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、使いやすさ及び丈夫などを比較・検討した上で、製作品の製作を行っている。	・作品の完成度と高めるために意欲的に政策を行っている。 ・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・道具の管理、準備、片付け、清掃を進んで行おうとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品
1 2 3	【材料と加工に関する技術】 身の回りの整理に役立つ製品の製作	5 2 2	・製品の表面処理 ・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用 ・持続可能な社会のための技術について考える。	・製作図(投影図)を基にして、材料取り、部品加工組立て・接合、仕上げができる。 ・材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。	・作品の完成度を高めるための工夫を行っている。 ・よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	・作品の完成度と高めるために意欲的に政策を行っている。 ・道具の管理、準備、片付け、清掃を進んで行おうとしている。 ・よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・授業観察 ・定期考査 ・作品	・ワークシート ・授業観察 ・実習 ・作品

令和4年度 指導・評価計画(2年:技術・家庭科 家庭分野)

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
項目	衣服の選択と手入れ・生活を豊かにするための布を用いた製作																									住居の機能と安全な住まい方									
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 衣類の手入れ 繊維の種類 衣服の補修に関わる技術 衣服の原型 TPOに応じた衣服 										<ul style="list-style-type: none"> 「衣類の手入れ」に関する実践 布を使った小物の制作 日本の伝統文化(和装) 補修の技能 										<ul style="list-style-type: none"> 住まいの役割 生活行為と住空間 日本の住まいと住まい方 住まいの安全 住まいと災害 健康、快適な室内環境 よりよい住まいを目指して 														

学期	項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1・2学期	衣服の選択と手入れ・生活を豊かにするための布を用いた製作	<ul style="list-style-type: none"> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3学期	住居の機能と安全な住まい方	<ul style="list-style-type: none"> 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価基準	方法	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 作品・課題への取り組み ウ 実技テスト エ 授業態度 オ 定期考査	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 作品・課題への取り組み ウ 授業態度 エ 定期考査	ア ワークシートの内容(課題含む) イ 作品・課題への取り組み ウ 授業態度 エ 定期考査
	A	上記観点を十分に達成したと判断できる場合	上記観点を十分に達成したと判断できる場合	上記観点を十分に達成したと判断できる場合
	B	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合	上記観点をおおむね達成したと判断できる場合

観点の達成率
A・・・80%以上
B・・・50%以上
C・・・50%に満たない

令和4年度 指導計画・評価計画 (学年：2 学年 教科：英語)

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Starter Lesson1 Take Action!1 GET Plus1 Lesson2 Project1 Take Action!2 GET Plus2 Lesson3 GET Plus3	<ul style="list-style-type: none"> 物語などを読んで大まかな流れをつかみ要約できる。 接続詞 (when,if,that,because,) の用法を理解し、文章の中で正しく運用できる。 質問する、情報を付け加える、表現を理解し、即興で使用することができる。 許可を求める表現を理解し、運用することができる。 不定詞 (名詞、副詞、形容詞用法) の用法を理解し、即興で運用することができる。 意見を言う、同意するなどの表現を理解し、即興で運用できる。 存在構文や動名詞の構造を理解し、運用できる。 義務や禁止の表現を理解し運用できる。 	<p>(R) 物語のおおまかな流れや、登場人物の気持ちの移り変わりをまとめるために、物語を読んで、概要を捉えている。</p> <p>(S) 小学校の児童に読み聞かせをするために、本を読んで、概要を捉え、その意味内容にふさわしく音声化している。</p> <p>(L) 図書館で本や雑誌を借りるために、図書館の利用案内について話された英文を聞いて、必要な情報を捉えている。</p> <p>(R) 花が農家になりたいと考える3つの理由をまとめるために、花の将来の夢について書かれたスピーチを読んで、要点を捉えている。</p> <p>(S) スピーチコンテストに参加するために、将来の夢やしてみたいことについて、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を意欲的に聞き取ろうとする。 積極的に言語活動に参加しコミュニケーションを図ろうとする。 学習した表現を総合的に使い、よりよい表現になるよう工夫しようとする。 教科書の音読練習や発表、面接などの活動に積極的に取り組もうとする。
2 学期	Lesson4 Take Action!3 GET Plus4 Reading (I/F) Lesson5 Take Action!4 GET Plus5 Reading(I) Project2 Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> 特別な用法の動詞 (give,call,make など) を使った文章を理解し、即興で運用できる。 空港などのアナウンスを聞いて、必要な情報を得ることができる。 つなぎ言葉を使うこと、詳しい説明を求めることができる。 have to / don't have to の意味を理解し、即興で運用できる。 形容詞と副詞の比較級・最上級の構造を理解し、運用できる。(more/most も) 誘う、誘いに応じる、といった場面でのやり取りを知り、自分でも運用できる。 	<p>(R) ウルルでできることと、してはならない事をまとめるために、ウルルについて書かれたコラムを読んで、要点を捉えている。</p> <p>(W) エッセイコンテストに応募するために、行ってみたい国について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</p> <p>(R) 決まった予算や条件の中で買う食べ物や飲み物を提案するために、料理や金額について書かれたレストランのメニューを読んで、必要な情報を捉えている。等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を意欲的に聞き取ろうとする。 積極的に言語活動に参加しコミュニケーションを図ろうとする。 学習した表現を総合的に使い、よりよい表現になるよう工夫しようとする。 教科書の音読練習や発表、面接などの活動に積極的に取り組もうとする。
3 学期	Take Action!5 GET Plus6 GET Plus6 Lesson7 Take Action!6 Project3 Readinf(F)	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形 (継続・完了・経験) の用法と構造を理解し、即興で運用できる。 困っていることを伝える、助けを求める、などの表現を知り、運用できる。 自分の意見を伝え、相手の意見を尊重する形で、ディベートができる。 また、相手と意見が違う場合の対処法についても学習する。 	<p>(R) 料理を作るために、材料や手順について書かれたレシピを読んで、必要な情報を捉えている。</p> <p>(R) 大島希巴江さんが受けたインタビューを要約するために、大島希巴江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要点を捉えている</p> <p>T) 英語版の学校新聞に先生のプロフィールを載せるために、お気に入りのものなど先生に質問したいことを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を意欲的に聞き取ろうとする。 積極的に言語活動に参加しコミュニケーションを図ろうとする。 学習した表現を総合的に使い、よりよい表現になるよう工夫しようとする。 教科書の音読練習や発表、面接などの活動に積極的に取り組もうとする。

評価	方法	スピーチなどの発表、個別面接、英作文などの自己表現を伴うパフォーマンステスト (実技テスト)		
		グループ・ペア活動		語彙テスト
	基準	各学期の定期テスト		
		各評価場面での評価項目において、十分に満足できる状況を 100%とした場合の、80%以上を A、50%以上を B とする。Lesson ごとのパフォーマンステストにおいては、生徒に事前に評価項目、規準を明確にし、事後には項目ごとの評価を返却します。また、学期ごとにその学期内に実施した評価項目や個人の評価の結果などを「学習の記録」として一覧にして生徒・保護者に提示します。		